

2025 年度 長岡大学シラバス

授業科目名	グローバルスタディ（韓国） (Global Study (Korea))					担当教員	権 五景 (グォン オーギョン)	
2020-23 年度 入学者 (20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	
2024-25 年度 入学者 (24K-25K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	学生参加型 AL、共同学修型 AL
	2413-0-53-048	教養科目	選択	2 単位	1～4 年次	集中		

① 授業のねらい・概要
本授業では夏季休業期間中に約 1 週間の韓国滞在がある。隣国韓国での 1 週間の滞在中に少しでもグローバル化を体験し、刺激を受け、帰国後韓国での刺激をばねとし、残りの大学生活を充実させていくことを目標とする。韓国に出発する前の事前学習においては、日本や北東アジアにおける朝鮮半島の政治経済的位置付けを理解してもらうための概説的講義を行なう。「韓国経済の奇跡」、「北朝鮮経済の崩壊」、「日中韓の繁栄」がキーワードとなる。
② ディプロマ・ポリシーとの関連
コミュニケーション能力／情報収集・分析力
③ 授業の進め方・指示事項
講義を行ってから両国の共通点や相違点に関してディスカッションを行う
④ 関連科目・履修しておくべき科目
なし
⑤ テキスト（教科書）※授業で使用する。
なし。代わりに、授業開始時にレジュメを配る。
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。
なし
⑦ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
現地学習の効果を大きくするためにも事前学習のレポートとディスカッションに積極的に参加してほしい。
⑧ 評価 A に対応する具体的な学習到達目標の目安
(i) 半島国家という特性を持つ朝鮮半島を理解する。 (ii) グローバリゼーションを学生間交流や旅行を通して実感し、理解する。 (iii) 両国の類似点や相違点を結果として位置付け、その原因をグローバル化への対応と見なす際、自分の言葉で説明できるようにする。

⑨ ルーブリック					
評価基準	S	A	B	C	D
評価項目	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 地政学的特徴の理解	地政学的特徴と朝鮮半島の現状の因果関係について、自分の言葉で他者に明確に説明できる	地政学的特徴と朝鮮半島の現状の因果関係について、キーワードを並べながら説明できる	地政学的特徴と朝鮮半島の現状の因果関係について、資料等を見ながら説明できる	地政学的特徴と朝鮮半島の現状の因果関係について、資料等を見ながら、教員等の支援を受けて説明できる	地政学的特徴と朝鮮半島の現状の因果関係について、資料等を見ても、教員等の支援を受けても説明できない
(ii) グローバリゼーションに対する両国の対応の理解	グローバリゼーションに対する両国の対応について、自分の言葉で他者に明確に説明できる	グローバリゼーションに対する両国の対応について、キーワードを並べながら説明できる	グローバリゼーションに対する両国の対応について、資料等を見ながら説明できる	グローバリゼーションに対する両国の対応について、教員等の支援を受けて説明できる	グローバリゼーションに対する両国の対応について、資料等を見ても、教員等の支援を受けても説明できない
(iii) 現地での交流や訪問の意義の理解	現地での訪問先で、積極的に望み、交流や訪問の意義を、自分の言葉で他者に明確に説明できる	現地での訪問先で、積極的に望み、交流や訪問の意義を、キーワードを並べながら説明できる	現地での訪問先で、積極的に望み、交流や訪問の意義を、資料等を見ながら説明できる	現地での訪問先で、積極的に望み、交流や訪問の意義を、教員等の支援を受けて説明できる	現地での訪問先で、積極的に望み、交流や訪問の意義を、資料等を見ても、教員等の支援を受けても説明できない

⑩ 学習到達目標（評価項目）	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	35%			50%	15%		100%
(i) 地政学的特徴の理解	10%			15%	5%		30%
(ii) グローバリゼーションへの対応の理解	5%			10%	5%		20%
(iii) 現地での活躍	20%			25%	5%		50%
フィードバックの方法	事前学習において、毎回の授業の冒頭にクラスルームの掲載内容について触れていく。						

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）	
1	半島国家としての朝鮮半島の歴史	要点を整理し、一つ以上の疑問を持つ。	120 分
2	半島国家としての朝鮮半島の文化	要点を整理し、一つ以上の疑問を持つ。	120 分
3	韓国・北朝鮮概説（政治・経済）	要点を整理し、一つ以上の疑問を持つ。	120 分
4	一般人の一日	要点を整理し、一つ以上の疑問を持つ。	120 分
5	韓国人の衣食住	要点を整理し、一つ以上の疑問を持つ。	120 分
6	韓国人の倫理観と宗教	要点を整理し、一つ以上の疑問を持つ。	120 分
7	圧縮成長した韓国人の職業観	要点を整理し、一つ以上の疑問を持つ。	120 分
8	地方衰退から見える韓国人の教育観	要点を整理し、一つ以上の疑問を持つ。	120 分
9	失業から紐解く韓国社会	要点を整理し、一つ以上の疑問を持つ。	120 分
10	朝鮮半島にとって日本、日本にとって朝鮮半島	要点を整理し、一つ以上の疑問を持つ。	120 分
11	日本と似て非なる韓国仏教	要点を整理し、一つ以上の疑問を持つ。	120 分
12	IT 大国、韓国	要点を整理し、一つ以上の疑問を持つ。	120 分
13	右派と左派の真っ二つに分裂された現代韓国	要点を整理し、一つ以上の疑問を持つ。	120 分
14	韓国現地研修	要点を整理し、一つ以上の疑問を持つ。	120 分
15	レポート発表・プレゼンテーション	要点を整理し、一つ以上の疑問を持つ。	120 分

⑫ アクティブラーニングについて
学生参加型 AL／共同学修型 AL

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性